



ゴルフ練習場横に咲く向日葵

浦学だより

Vol. 98

☎ 336-0975

埼玉県さいたま市緑区代山172

☎ 048-878-2101 ☎ 048-878-3335

<http://www.uragaku.ac.jp/>

発行者 国際教養・ライフスキル教育推進部

編集者 浦和学院高等学校広報・企画局

URAWAGAKUIN HIGH SCHOOL

2017.10.13

野球部

第99回全国高校野球選手権大会出場を向け、本校野球部が埼玉大会の決勝で花咲徳栄高校と対戦しました。

ともにAシードで、県一代表制では史上2校目となる県内3冠を目指すとともに、4年ぶりの甲子園出場を向け、4年ぶりの決勝に戻ってきた本校野球部と、埼玉大会で史上初の3連覇を目指した花咲徳栄高校。

本校野球部は、投手陣が11四死球の押し出し3つを出してしまい、打線は安打数で上回っていきながらも、あと1本が出ない苦しい展開となりました。夏の決勝戦で敗れるのは18年ぶりで、惜しくも5季連続で甲子園出場を逃しました。

しかしながら、2回戦から4回戦まで順調に勝ち進み、5回戦で星野高校に土俵際まで追い込まれながらも勝ち切った粘り強さ、準々決勝の聖望学園高校や準決勝の春日部共栄高校といったライバルたちを倒した強さは本物でした。また、決勝で戦った花咲徳栄高校は、見事全国優勝を果たしました。

「頑張る仲間をみんなで応援」というスローガンのもと声援を送り続けた応援団からは、最後まで全力で戦った選手たちに温かい拍手が送られていました。

応援してくれた全校生徒をはじめ、保護者の方々、一般の方々、本当にありがとうございました。また、生徒会本部が陰で支え、吹奏楽部・ソングリーダー部で盛り上げ、そして、ベンチ入りはできないけれど応援席で音頭をとり続けてきた野球部員たちが一団となったファイヤーレッズにも大きな拍手を送りたいと思います。みなさんの声援があってこそ、選手たちもここまで頑張ってきたのだと思います。次は、来春の全国選抜をめざして練習に励んでほしいと思います。



決勝戦
2対5
花咲徳栄

準決勝戦	3対2	春日部共栄
準々決勝戦	3対0	聖望学園
5回戦	4対3	星野(延長12回)
4回戦	7対0	春日部東(7回コールド)
3回戦	7対0	浦和(8回コールド)
2回戦	28対0	三郷(5回コールド)

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
花 咲 徳 栄	0	0	0	0	4	1	0	0	0	5
浦 和 学 院	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

浦学スポーツ

テニス部女子

3年L組 高橋 遥 菜 (立川市立立川第二中学校出身)



私たちテニス部女子は、インターハイ団体戦2年連続26回目の出場となり、結果はベスト16でした。また個人戦ではシングルスに3人が出場し、ベスト32が最高。ダブルスに2組出場し、ベスト8が最高でした。昨年の団体戦ベスト16を超えていきたいと思い、一生懸命練習に励んできましたが、関東高校で優勝した相手にあと一歩及ばず悔しい結果となりました。しかし、心の底から仲間を応援し、助け合いながらチーム一丸となって戦うことができたと思います。今まで支えてくださった中村先生を始めとする顧問の先生方やコーチの方々、応援に駆け付けていただいた先輩方や保護者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。1、2年生には今より練習をして、全国の上位校に入れるように頑張りたいと思います。これからもテニス部の応援をよろしくお願いします。

パワーリフティング部

2年I組 鈴木 聖 也 (白岡市立荻荻中学校出身)



私たちパワーリフティング部は、8月6日の第35回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会に、男子16名、女子1名の合計17名が出場しました。結果は、個人戦では9名が入賞し、団体戦では、優勝することができました。この大会は、3年生最後の大会だったので優勝して良い結果が残せてよかったです。また、今回の優勝で夏の大会2連覇なので、私たちの代でも優勝し、三連覇をしたいと思います。そのためには、日々の練習を頑張り、新主将として部をしっかりとまとめ、まずは11月の埼玉県大会で優勝していきたいです。これからも、パワーリフティング部の応援をよろしくお願いします。

部活動大会報告<インターハイ・全国大会出場>

男子ハンドボール部

3年E組 杉 山 周 (さいたま市立土合中学校出身)



私たち男子ハンドボール部は、インターハイ埼玉県予選で優勝し、27年連続でインターハイ出場を決めました。その後、インターハイ予選決勝を終え、約2か月間インターハイ優勝を目標として練習してきました。インターハイでは、1回戦は危なげなく勝利することができました。しかし、2回戦では春の全国選抜で準優勝した京都の洛北高校に負けてしまい、インターハイはベスト32という結果で終わりました。これから1、2年生には全国優勝を目指して頑張ってもらいたいです。日頃から熱心に指導していただいた岩本先生をはじめ、応援していただいた保護者の方々、浦学ファイヤーレッズの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。3年生も次のステージで頑張りたいと思います。これからも、浦学ハンドボール部の応援をよろしくお願いします。

馬術部

3年N組 大 庭 華 (越谷市立大相模中学校出身)



私たち馬術部は、3年連続でインターハイに出場することが出来ました。昨年、先輩方が第3位という成績を収め、その成績を越えられるように日々練習に励んで来ました。インターハイでは初めて乗る馬で3分間のみ練習し、そのまま本番に挑みます。1回戦、2回戦と

勝ち上がり、昨年と同じ、第3位という成績を収めることが出来ました。この結果はいつも指導して下さっているコーチや、顧問の先生、家族、仲間、先輩方、馬たちのお陰です。私たちは優勝することが出来ませんでしたが、来年こそ後輩たちが優勝してくれると信じています。これからも馬術部の応援をよろしくお願いします。

部活動大会報告＜ソングリーダー・全国大会出場＞



2年E組 杉村 玲央
(越谷市立栄進中学校出身)

ソング
リーダー
部

私たちソングリーダー部は8月20日に行われた「School & College competition 2017」に出場しました。新チームとしての初めて臨んだ大会でした。少し緊張している様子もありましたが、チーム全員で声をかけ合いながら取り組みました。この日のために、たくさん辛い練習をして乗り越えて来ました。SPLASHもJr.も目標には届くことが出来ずとても悔しい結果となってしまいましたが、チームの力を発揮することが出来た大会となりました。これからはこの悔しさをバネに、私たちを応援してくださった保護者の方々や学校、コーチや先生方のために最高の演技と結果で恩返しします。これからもソングリーダー部の応援をよろしくお願いします。

フレッシュマン
キャンプ

1年H組 山田 杏優
(三郷市立北中学校出身)

1泊2日であっという間に過ぎてしまったフレッシュマンキャンプ。2日間を振り返ると楽しんだ一方、学べたことがたくさんあった2日間だったと思います。バーベキューでは男女で協力、話したことのなかった人とも話すことができました。オリエンテーションでは暑かった中、誰一人わがままを言わず、班長を中心にゴールまで到達することができました。

その一方で、課題となる点も見つかりました。話を聞くときの姿勢や、待っている時の私語が多かったことなど、メリハリがつけられていなかった部分もありました。このようなことから団体行動の難しさを知ることができました。

また、今回のキャンプで学べたことがたくさんありました。これを学校生活に活かせるよう、改善すべきところは改善し、良いところはさらに伸ばし、向上心を高めて行きたいと思います。

クロスカルチャー
ツアー(フィリピン・セブ島)

2年B組 中部 有佑子
(富士見市立勝瀬中学校出身)

私はクロスカルチャーに参加して、『出会い』の大切さについて学びました。学校は日本人以外にもさまざまな年齢のアジア人が英語を学んでいました。フィリピン人の先生とのマンツーマン授業とグループ授業が朝から夜まであり、休日にはきれいな海でのアクティビティや孤児院で子ども達と遊ぶなど、文化についても体験しました。また、セブでの習慣や伝統について日本との違いを感じただけでなく、

考え方や音楽の好みなどで共感もしました。1週間目は授業でただ先生の話を理解するのに必死でしたが、2週間目は授業以外でも先生と話そうになっていました。最後の授業では、先生から手紙やお菓子をもらいました。2週間という短い時間の中で、大切な友達、先生に出会えたことをとても嬉しく思います。私は改めて英語を教科としてだけでなく、世界中の人とコミュニケーションをとる言語としてとても大切だと思いました。

芸術鑑賞会



3年F組 飯田 稜 (草加市立両新田中学校出身)

進学類型

私は小さい頃から音楽が好きで、よくライブを見に行くのですが、あんなに会場が一体となって心が踊るようなライブは初めてでした。圧倒的な歌唱力と素晴らしいライブパフォーマンスでLove=a Rainbowの方々は最高に熱くて、これまでにないくらい豪華なライブでした。私たちに感動を与え、アフリカ楽器の様々な音の表現には感銘を受けました。

また、ダンスユニットの「KOTANG&MA-YA」の切れ切れのダンスは今でも鮮明に覚えています。生徒や先生や保護者の方を実際にステージに上げてダンスのレッスンを行い、会場を大いに盛り上げてくれました。

今回の芸術鑑賞会でゴスペルの起源を知り、ダンスの面白さを学びました。普段の生活では経験することができない貴重な経験ができました。私にとっては最後の芸術鑑賞会でしたが、今までにないほど楽しくて盛り上がったので最高の思い出になりました。

1年B組 木村 太一 (川口市立南中学校出身)

特進類型

明治時代の長崎を舞台に、今の僕たち高校生と同世代の少女、蝶々夫人の悲劇的な運命を描いたプッチーニの名作オペラ「蝶々夫人」を新国立劇場で鑑賞しました。アメリカ海軍士官ピンカートンと結婚した蝶々夫人が、信じていた夫もたった1人の幼い我が子も失い、最後は自害するという悲しい物語です。こんなにつらいストーリーは何度も観たいものではありませんが、日本的な情緒がところどころに織り込まれた音楽はまた聴きたくなる素晴らしいもので、ホール中に響く声量と美しい声に圧倒されました。階段の上には星条旗、その下には日本の座敷という舞台設定が最初は不思議でしたが、最後には納得できました。とても良い席から観ることができたので、登場人物たちの表情や細かい動きまでよく見えました。オペラ歌手は顎を引いて目を見開くように歌いますが、それと同時に喜怒哀楽まで全身で表現する姿は迫力がありました。

サマーアートキャンプ

芸術科係長 玉掛 理人

今年のサマーアートキャンプは、軽井沢駅のそばにある矢ヶ崎公園です。公園の中心には池があり、その周りをぐるりと遊歩道が取り囲んでいて、公園内には写生のポイントが多数点在するような場所です。また、樹木も多く植えられているので、木陰を選べば快適に写生することができます。合宿中は、作品を1点仕上げるのが目標になりますが、普段と違う環境でかつ野外で写生することで、思わぬハプニングややりづらさもあります。思うように筆が進まずに不安になる生徒もいるようです。しかしそこは合宿ですので、作品制作にける時間を最

大限に設け、1枚の作品を描き切れるように進めます。そのためには集中力を持続させ、何とんでも描き上げようとする目標設定が必要不可欠なのです。

作品を仕上げるために、次のような取り組みを行った生徒がいます。この生徒は昨年参加していたのですが、その時は作品完成させることができませんでした。今年は何としても完成させて帰りたいという強い意志を抱いて参加しました。描くものも、昨年と同じようなものを選びそれを描く。彼のひたすら描く姿は、感動さえ覚えるものでした。そして、自分でもやり切ったという充実感をもってサマーアートキャンプを終えることができたようです。

写生以外に、ニューアートミュージアムやセゾン美術館を訪問し、多くの美術作品に触れました。また旧軽井沢通りを散策してお土産を買ったりと、充実した3日間であったと思います。

キャリアガイダンス

1学年 進路指導課長
高畑圭史

1学期の期末テストが終了し、答案返却2日目にあたる7月12日(水)に行われたキャリアガイダンスには、921名の1年生が参加しました。このガイダンスは法学・教育・看護など33分野の大学・短大・専門学校の先生方からその分野の職業の話を聞き、自分の職業選択のために役立ててもらおう目的で実施しました。このガイダンスの生徒アンケートの一部を紹介します。「自分のつきたい仕事がある仕事をするのか、深く知ることができました。大学と専門学校では学べるのが異なることもわかりました。オープンキャンパスなどに行き、もっと知識を増やし、視野を広げられるよう積極的に行動したいです。」「子どもが好きで保育士になりたかったが、この仕事は子どもの命を守る責任があり、ただ好きなだけじゃダメなこともわかりました。大変やりがいのある仕事なので一層勉強を頑張ろうと思いました。」など、前向きな意見ばかりでした。2学期には文理保選択を実施します。後悔をしないようにじっくり調べ、進路を定めて下さい。

受験シーズンに向けて

進路指導部長 高橋広和

受験の天王山と言われる夏休みが終わり、季節はすっかり秋となりました。今年もいよいよ本格的な受験シーズンが始まります。この時期3年生は必死になって受験勉強に取り組んでいることと思います。進路指導室にも多くの3年生たちが訪ねてきます。最近、AO入試や推薦入試などの特別入試ではなく、学科試験で勝負する一般入試で受験をする生徒が増えてきました。それと比例して「成績が伸びません。どうしたら偏差値が上がりますか。」「今回の模試もE判定でした。志望校を変更した方が良いでしょうか。」という質問も増えました。

しかし、受験勉強とは志望校に合格するために必要な勉強のことです。偏差値を上げることが目標ではなく、志望校に合格することが目標です。したがって、受験勉強で最も大切なことは、志望校を明確にして志望校に合わせた勉強をすることです。この当たり前のことを忘れて、悩んだり不安に感じたりする生徒が多くいます。もう一度、自分が志望校合格に向けての勉強をしているか見直しましょう。

受験日が近づくにつれて、悩むことや不安に感じることも多くなるといえます。しかし、受験の悩みは受験が終われば全て解消されます。出口や答えのないものではありません。受験は今後の人生を左右するほど大きなものです。苦しい思いをしている生徒もいると思いますが、この経験は必ず役に立つはずです。偏差値や模試の判定に必要な以上に振り回されることがないようにして下さい。そして、周囲に合わせるのではなく、志望校に合わせた努力をしましょう。

3年生全員が志望校に合格できるよう、教職員一同全力で応援しています。

特進夏季進学合宿

1学年 特進推進係長
児玉頼昭

特進類型では、7月26日(水)から7月30日(日)まで長野県車山高原において夏季進学合宿を実施しました。3年生は高校生活最後の合宿でもあり、空き時間には質問したり、深夜1時まで自習に明け暮れている生徒もいました。また、授業も自分の受験教科に直結する科目を選び、懸命に頑張っていました。1、2年生は1学期の総復習を目的とし、国語、数学の授業を真剣に取り組んでいました。今年から実施したEnglish

Dayにおいては、英語のみでコミュニケーションをとり、周りの生徒と一生懸命に自分の伝えたいことを話していました。この合宿の最終日には1、2年生合同で英語でコミュニケーションを行い、初日より全員が英語で自分の意志を伝えられるようになりました。3年後には英語の4技能テスト導入もあり、スピーキングの力が重要となるため、効果的な試みだったと感じました。

合宿中には1、2年生は霧ヶ峰登山を実施し、生徒たちにとってはリフレッシュできる時間になりました。

最終日には合宿中実施したテストの成績優秀者やEnglish Dayで活躍した生徒の表彰をするなど達成感のある合宿となりました。

大学・短大説明会

3学年 進路指導課長
青木秀彦

7月7日(金)、3年生を対象とした大学短大説明会を校内にて行いました。参加校は95校で、900名近くの生徒が大学・短期大学の説明を熱心に聞いていました。

この説明会は、「さいたまスーパーアリーナ」や「大宮ソニックシティ」など外部で行われる説明会とは違い、校内で行われるので提携校推薦や指定校推薦の内容を細かく相談できることが特徴です。また、各校が過去の浦学のデータを参考に相談して頂けるので、公募推薦やAO入試も含めて合格の可能性の高い入試方法などが相談できます。

さらに、これだけ多くの大学・短期大学が参加して頂けることにより第1希望だけでなく、第2希望・第3希望の学校を見つけることができます。同じ学部学科でもカリキュラムの違いなど比較ができる上に各校の特徴などが分かるイベントにもなっています。

この説明会が終わると夏休みの三者面談に突入し、受験方法を含めて第1希望の学校が決まっています。早い生徒は夏休み中にはAO入試を受験し、この「浦学だより」が配布される頃は公募推薦・指定校推薦校を受験している時期だと思います。放課後、それぞれが遅くまで志望理由書の作成や面接練習など行い、より良い結果が出ることを期待しています。

ボランティア報告

3年G組 神 沼 望 活動場所 さいたま市立大谷小学校
(さいたま市立木崎中学校出身) 活動内容 土曜チャレンジスクール(学習支援ボランティア)

私は、大谷小学校のボランティアで2つの仕事をして感じたことが2つあります。

1つ目は、大谷小学校の生徒に勉強を教えるにあたり、人に勉強を教えるのは簡単なことではないということです。理解してくれず、困ることもありましたが、理解してくれた時の達成感があつたので、人に教えることのうれしさを学びました。

2つ目は、生徒とけん玉をして遊んだ折、自分たちも、生徒と一緒にやらせてもらったのですが、なかなか上手くできませんでした。しかし、生徒達は覚えるのが早く、驚きました。小さい頃からけん玉が苦手だった私は、大谷小学校の生徒に圧倒されました。

土曜チャレンジスクールに参加し、学んだことがたくさんあり、生徒達からたくさんさんの刺激を受けました。またこのようなボランティアがあれば、積極的に参加したいです。

3年O組 相 澤 香 月 活動場所 野田ハイツ
(戸田市立戸田東中学校出身) 活動内容 南アフリカへ送る英語の本の梱包作業

今回のボランティア活動を通して、私は南アフリカの子供たちなど日本には普通にあるものでも現地にはなく、不便に思っている人々がいることを改めて痛感し、このような支援をする大切さも学ぶことができました。

南アフリカの学校には図書館がなく、本が読めない子供たちがいることをこの活動で知りました。TAAA団体の方々は英語の本だけでなく、サッカーボールや靴などの支援も行っていました。

私が何も不自由なく過ごしてる中で、今までこういった支援活動を行っていることをあまり意識せずに生きてきました。しかし、今回のボランティア活動に参加して、南アフリカだけでなく、私たちの支援を必要としている人々の助けになるような活動に積極的に取り組みたいと思いました。この先もこういった活動を続けていかなくてはならないものであると感じ、支援活動の大切さを知ることができたボランティアになりました。

浦学ふぁみり〜
応援写真コンテスト応募
しよう!

今年もまた、
「がんばる仲間をみんなで応援」をスローガンに
「浦学ふぁみり〜応援写真コンテスト」を実施します。

日程

応募期間 2017年5月20日(土)~2017年11月24日(金)

投票期間 2018年1月10日(水)~19日(金)

結果発表 2018年3月1日(木)

応募
方法

1. 対 象 部活動、学校行事、ボランティア活動など学校生活の様子

2. 提出物 ①写真、SDカード、USBメモリーのいずれか
応募者名、撮影日、大会・イベント名、撮影シーンの説明を添付

*生徒の場合は学年・クラスも記入

3. 提出方法 生徒 → 保護者 → 生徒 → 担任



部活動大会の応援時撮影写真など、
保護者の方々からたくさんのご応募を
お待ちしております。お子様を通してご応募ください。

学校の情報が満載のHP「浦学ふぁみり〜」
(<http://www.uragaku-family.jp/>)は
《浦和学院ホームページ→浦学ふぁみり〜》から
ご覧になれます。

浦和学院高等学校 石巻・東松島交流プロジェクト

「笑顔・希望」—明日へ共に歩む

何を感じ、何を考え、何を行動するか。

～ステキな三日間をありがとう～

浦和学院による学習サポート

夏休み中の8月2日から4日までの3日間(全行程は4日間)、毎年恒例となっている浦和学院(埼玉県)の高校生による学習支援活動「サマースクール」が開かれました。遠く埼玉県から寄磯小学校を訪れた高校生は10名(他、大原小学校へ14名)。寄磯小の子どもたちにマンツーマンでそばに付いていただき、国語や算数の問題を解くサポートをしてもらいました。高校生の中には、3年連続で寄磯小に来ていているという方もいて、うれしい再会もありました。また、高校生の態度もすばらしく、事前研修もしっかりしてきているのが伝わる活動ぶりでした。3日間という時間はあ

石巻市立寄磯小学校のホームページより引用
佐々木康之校長先生が掲載して
くださいました。

っという間に過ぎていきましたが、その間、学習サポートだけでなく、体育館で一緒に遊んだり、浜を一緒に歩いたり、ゲームを楽しんだりするといった時間もありました。最終日は、互いに別れを惜しむ姿が見られました。最終日、「校長からの講話」ということで時間をいただきました。私も初めてのことであり、どんなことを話そうかと迷いましたが、今回は「寄磯ミニミニ講座」と題して、高校生からの質問に答える「Q&A」形式とさせていただきます。

(質問は省略)

後半の質問を見ると、「被災地を訪問する」ということ、特に「被災した(かもしれない)人々との接し方」に対する高い意識と迷いが伝わってきました。そんな高校生たちに私からは「いつもどおり笑顔で」「相手のよさに目を向けて」接することの大切さを伝えました。そして、私が震災後に知ったこんな詩を紹介しました。浦和学院の皆さん、ありがとうございました。みなさんのこれからの活躍を心から願っています。

「ただいま」とか、
「おかえり」とか。
「今日は遅いの?」とか、
「あとでメールするね。」とか。
なんでもない日々の、
なんでもない会話。
【三月十日】は全員、他愛もないことで悩んで怒って笑ってた。
【三月十一日】の、
「昨日に戻ればいいのに。」
その気持ちは誰も忘れない。
けど、一番忘れてならないのは、
今日は【三月十日】かもしれないということ。
もしね、明日が最後だって知っていたら、
なにを、どうすればいいんだろう?
この景色も最後かもしれないって思ったら、
もしかしたら、もっと人は一生懸命になれるかもしれない。
結局、捨て身で手を伸ばしても、
救えないものの方が多いのかもしれない。
それでも、僕は、精一杯ナニカと戦って、
今日という日の終わりに毎日感謝をしようと思う。
そして、好きな人に、
「愛してるよ」
と伝えておくことこそが、一番の防災意識なのだと思う。



この夏浦学が
大きくリニューアル
体育館エアコン新設
普通教室リニューアル
机・椅子が新しく!!

- ・エアコン入替(全校舎完了)
- ・体育館エアコン新設
- ・普通教室リニューアル
- ・机・椅子入替(第一校舎より順次)
- ・ウォシュレット設置(全洋式)
- ・駐輪場・部室棟全塗装
- ・外トイレ改修(10月末完成予定)



夏休みの 工事

この夏季休業中、校内の施設設備
改修工事を行いました。
内容は多岐にわたり、生徒に直接
関わる教育環境改善に重点が置
かれました。実施項目は次の通り
です。